

■第 51 回滋賀県国保地域医療学会で研究発表を行いました。

さる令和元年 8 月 4 日、大津市の琵琶湖ホテルにおいて「第 51 回 滋賀県国保地域医療学会」が開催され、136 人が参加されました（主催：滋賀県国民健康保険診療施設協議会・滋賀県国民健康保険団体連合会）。当院からは、院長以下 13 人が参加しました。

「地域における国保診療施設の役割 ～在宅医療の充実に向け～」をテーマに、広島県北広島町雄鹿原診療所所長・芸北ホリスティックセンター所長の東條環樹氏による特別講演、県内行政機関や医療機関による 10 本の研究発表のほか、「在宅医療の充実に向けた各地域の取り組み」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、参加者のみなさんもメモを取るなど熱心に聴講されていました。

当院からは、「認知症患者の排泄方法選択の支援 ～退院支援を通して感じたジレンマ～」と題して、民徳看護師が研究発表を行いました。

当院は、今後とも医療の提供に関する研究を積極的に行い、学会等での発表を通じて医療の質の向上に努めてまいります。

